

8 石油設備機器

【関連章第3章8】

事例1 「石油ストーブの清掃不良により出火した火災」

出火時分 1月 11時ごろ
用途等 共同住宅 耐火造 10/1 延 2,000 m²
防火管理 該当選任あり 消防計画あり
被害状況 建物ぼや1棟 石油ストーブ1台、床若干等焼損 負傷者1人
概要

この火災は、共同住宅の2階居室から出火したものです。

出火原因は、居住者が石油ストーブの灯油残量が少なくなったカートリッジタンクを取り出し給油した後、燃料キャップを十分に締め付けなかったためカートリッジタンクを本体に入れた際に灯油が漏れ、灯油のペーパーがストーブの残炎で引火し出火したものです。

また、給油時自動消火装置は作動していましたが、芯が完全に下がりきらず、芯端部にタールの付着があり、完全には炎が消えていませんでした。

居住者は、給油したカートリッジタンクを石油ストーブ本体に入れたところ、突然石油ストーブから炎が上がったため、布団を被せましたが布団に燃え移り始めたのでベランダに布団と本体を移動させて風呂桶に溜めた水を数回かけて初期消火しました。

通報は、自動火災報知機の鳴動を聞いた同じ階の居住者が自身の携帯電話から119番通報しています。

なお、この火災で居住者が火傷を負っています。

教訓等

石油ストーブは、危険物の灯油を使用することから、通常の作動以外で火がついてしまうと大変危険なため、取扱いに気を付ける必要があります。

また、石油設備機器の整備や掃除をする際は、しっかりと火が消えたことを確認してから、取扱説明書に記載されている方法で実施するようにしましょう。



写真 8-1 石油ストーブの焼損状況



写真 8-2 芯付近の焼損状況